

まきばでひとやすみ

子どもは遊びの天才だな~とよく思われます。  
時々その発想の面白さにびっくり、感心させられることも。  
最近、息子らといとこたちがやっていてとても笑ってしまったのは  
「排水口の汚れごっこ」...何じゃそれ!?ですよね。「洗剤」  
が鬼で、「汚れ」たちは全速力ですべり台をすべって上って  
逃げる...と、まあすべり台を使った鬼ごっこなんですが...



「排水口の汚れええ~!!」と鬼(洗剤)が追う様子は  
なかなかシニールですが、すべり台をパイプに見立てて汚れ  
たちがすべり落ちていく...というのはなかなかのアイデア!  
と思ったのです。一方、その近くでは娘が、小さな種い  
つかを兄弟たちに見立て「ホラ、がんばれえ」「わ~落ちた~」  
とブツブツ言いながら小枝で種たちを転がして遊ん  
で「おりました。虫やトカゲ、ヤモリなどを捕まえるのも彼ら

の遊びの一環ですが、春以降は  
ヤモリたちのエサとなる「ゴキブリベビー」  
を大量に捕まえるのもミッションとなり  
ます。近くの水路によく生息している



スポットがあり、空のペットボトルに大量のゴキブリベビーを入れ  
戻ってくる度「ギァア~!!」となります。大人たちは嫌がり殺そう  
とするゴキをあえて捕まえてくる子どもたち...理解の範囲  
を超えております。娘も気付くと手の中におさまるだけのダンゴ虫を  
どらさり捕まえては嬉々としており、これもまた私の未知の喜びなの  
であります。さらには、シルバニアのおうちで遊ばせてるのが重カ物  
たちでなくダンゴ虫だったりするので、内心「行方不明にさせるなよ...」  
と思いつつ「ちょっとダンゴ虫には大きすぎる家じゃない?」と冷静に  
つっこむ大人の余裕が最近はお出てきましたよ。教会などでも限られた  
道具やボールなど使ってやたら楽しい遊びをしている様子を見ては、子ど  
もたち、すごいなー!と思うのです。これから始まる夏休みも、そんな  
子どもたちの姿を笑って見ていられるように...!と願うのです。ロバ子A